

民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク
「アイヌ工芸品 リレー展示」出発式

1 事業の目的

アイヌ工芸品リレー展示は、官民応援ネットワークの構成員様に御協力いただき、アイヌ民族文化財団が所有するアイヌ工芸品を、多くの人々の目に触れる店舗等に展示することで、民族共生象徴空間の開設に向けた機運醸成を図り、その取組を象徴空間の開設までリレー方式でつないでいこうとする取組。

そのスタート日に当たり、次のとおり「出発式」を開催する。

2 概要等

- (1) 日 時 平成30年12月10日(月) 12:30~12:50
- (2) 場 所 北洋大通センター(大通BISSE) 1階ロビー
札幌市中央区大通西3丁目7番地
- (3) 出席者 民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク代表、アイヌ民族文化財団理事長、北海道アイヌ協会理事長、北海道観光振興機構会長、北洋銀行頭取
内閣官房アイヌ総合政策室北海道分室長、北海道副知事
- (4) 内 容 ○ オープニング
アイヌ民族文化財団によるムックリ演奏、アイヌ古式舞踊の披露
○ 象徴空間の紹介
○ 主催者あいさつ(民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク代表 横内龍三)
○ 出席者7名によるテープカット
展示工芸品: 木彫(ユーカラクル(アイヌの口承文芸の語り部))
イタ(盆)、マキリ(小刀)、イクパスイ(捧酒棒)



- (5) 主 催 民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワーク
- (6) その他 ・大通BISSEでの展示期間は、H30.12.10~H31.1.6を予定
・今後のリレー展示箇所及び日程等については別途、情報提供します。

民族共生象徴空間交流促進官民応援ネットワークは、民族共生象徴空間の開設がもたらす様々な効果を北海道全体に広げるために、経済界をはじめオール北海道による様々な取組を進めており平成28年11月に発足。代表は北海道経済同友会顧問の横内龍三氏。

構成員数は、117企業・団体。(H30.11.4現在)